

令和4年度の主要事業について

◆全国的に人口減少が進む中、本町においても少子高齢化による本格的な人口減少が進んでいます。こうした中においても、持続可能なまちづくりを進めるため、基本的な指針である「第5次総合計画後期基本計画」と、人口減少を克服する計画「第2期総合戦略」に基づき、その着実な実行を図っていきます。

町では、先ほどご紹介したSDGsを推進するとともに、令和4年度においても、よりきめ細やかな行政サービスを提供するため、限りある財源を効果的に配分して各事業を実施しています。

次は、令和4年度予算に計上した主な事業についてご紹介いたします。



◆第5次総合計画（後期基本計画）

第5次総合計画で掲げている将来像

GO&DO

暮らしやすさ実感 ごうどマイタウン

●計画期間：

令和3年度～令和6年度までの4年間

◆町民の皆様のご意見を取り入れながら作成した、前期基本計画の取り組みを継承しつつ、これまでの各施策の進捗状況を踏まえ、更なる効果的な推進と、社会情勢の変化による新たな課題への対応を主眼において、後期基本計画を策定いたしました。

※詳しい内容は、町HPに掲載。



◆まち・ひと・しごと創生第2期総合戦略

第2期総合戦略における基本的な視点

- ①：人口減少の抑制を図る！
- ②：住み続けたいと思えるまちを目指す！

●計画期間：

令和3年度～令和6年度までの4年間

◆平成27年度策定の「第1期総合戦略」以降6年間、人口減少の歯止めと、まち・ひと・しごとの好循環の確立を目指して各施策に取り組んできました。第1期計画が終了したことに伴い、これまで進められてきた施策の検証を行い、国、県の総合戦略を勘案して策定いたしました。

※詳しい内容は、町HPに掲載。

神戸町まち・ひと・しごと創生

第2期総合戦略

令和3年3月

神 戸 町



医療費
無料

◆切れ目のない子育て支援サービスの充実



妊娠期



乳児期



幼児期



小学生



中学生



高校生

ぎふっこカード・ぎふっこカードプラスによる買い物割引など					
子育て世代包括支援センター					
- 母子健康手帳の交付 - ママ応援プラン作成 - 妊婦健康指導 - 妊婦家庭訪問 - 両親学級 - 妊婦健診費用助成 - 妊婦産科検診費用助成 - 風しんワクチン助成 - 不妊治療費用助成（一般・特定・男性） - 子育て応援タクシー費用助成					
子ども医療費が高校生までずっと無料!!!					
多子世帯の保育料・給食費無料（第3子以降）					
多子世帯（子3人以上）は育児・病後児保育無料!!!					
- はいはいベビー券交付事業 - 児童手当 - 産婦健診費用助成 - 産後ケア事業 - 生後1ヶ月児見守り訪問 - 産後ママゆったり教室 - 新生児聴覚検査助成 - 予防接種 - おたふくかぜワクチン助成 - インフルエンザワクチン助成 - こんにがは赤ちゃん訪問 - 乳児健診 ●病児病後児保育 - 離乳食教室 - よちよち10ヶ月児相談 - 乳幼児健康相談 - 子育て巡回相談 - 新生児お祝い給付金事業					
子ども自立支援トータルサポート事業					
地産地消や食育に、美味しい学校給食					
3～5歳児給食費無料					
- 児童手当 - 予防接種 - インフルエンザワクチン助成 1歳8ヶ月児健診 - ぶちっこ2歳児相談 3歳児健診 - 事後フォロー教室 - のびのび5歳児相談 - 手づくりおやつ教室 - 乳幼児健康相談 - 子育て巡回相談					
- 児童手当 - 予防接種 - インフルエンザワクチン助成 - 就学援助制度 - スポーツ少年団10種目 - 各種文化講座 - 放課後児童クラブ - 学習サポート					
- 児童手当 - 予防接種 - インフルエンザワクチン助成 - 就学援助制度 - 海外派遣研修 - 町内企業での職場体験 - 学習サポート					
育英資金制度					
進学にも便利です					
自然ばかりを求めると、子ども達が成長するにつれ登校距離が心配。 住宅地が6.2km圏内に養老鉄道駅が3つあり、適度な距離で、自転車や電車で高校通学が可能です。 名古屋圏の都大・大学へも通学圏内です。 ●高校生世代通学定期券購入助成					
神戶市は子どもに優しい制度がいっぱい!					
源光園内の総合病院 3件 源光園内の特定不妊治療が受けられる産婦人科 3件 源光園内の産科8件					
神戶幼稚園 下高幼稚園 南平野幼稚園 北幼稚園					
神戶小学校 下高小学校 南平野小学校 北小学校					
神戶中学校 神戶町内に1つの中学校 生徒数498人 （令和4年1月1日現在）					



◆切れ目のない子育て支援サービスの充実

◆病児・病後児保育事業 予算額:462万円

◆子どもが病気の際に自宅で保育が困難な家庭に対して、病院等において病気の児童を一時的に保育します。3人以上の児童を扶養する多子世帯、生活保護世帯、市町村民税非課税世帯は無料です。

◆子育て世代包括支援センター事業 予算額:230万円

◆産前産後サポート事業・・・

保健師や助産師、母子推進員による相談支援(妊婦訪問)、両親学級(もうすぐパパママ教室)を開催。

◆産後ケア事業・・・

退院直後の母子に対して、心身のケアや育児のサポートを行います。

◆産婦健康診査助成事業・・・

産後2週間及び1か月健診に要した費用について、それぞれ上限5,000円を補助しています。

◆子育てアドバイザーの設置・・・

臨床心理士による子育て相談員を設置して、子育てに対する不安や悩みを抱える保護者の皆さんを支援しています。

▼高田医院内に設置された
「病児・病後児保育室オーロラ」



▼両親学級(もうすぐパパママ教室)



▼子育てアドバイザーによる相談事業





◆切れ目のない子育て支援サービスの充実

◆福祉医療費助成事業 予算額:2億円

◆子どもに対する医療費助成は、小学校1年生から高校生世代までを町単独で助成しています。

◆幼稚園給食費補助事業 予算額:2,910万円

◆神戸町立幼稚園を利用する3歳から5歳児の給食費を無償化しています。

◆新生児お祝い事業 予算額:1,134万円

◆新生児1人につき、7万円のお祝い金を支給するほか、育児用品等購入助成券(はいはいベビー券)3万円を交付します。

◆子育て支援センター運営事業 予算額986万円

◆親子が交流しながら仲間づくりができる場を提供するとともに、地域の子育てサークルやボランティアの力を活かして内容の充実を図っています。



▲はいはいベビー券



▲子育て支援センター



◆学校教育環境の整備と充実

◆学校ICT教育環境整備事業 予算額:5,158万円

◆ICT教育環境の中で、児童生徒に1人1台配置した端末を有効に活用した学習活動を展開しています。各教室の電子黒板システムと児童生徒の手元にある端末の情報共有やデータ転送機能を活用して、主体的、対話的で協働的な学習を進めています。

◆ICT支援員の設置・・・

授業で活用できるアプリケーションの提案や情報モラル、教職員の補助業務、授業支援、端末やネットワーク環境の保守業務を行うICT支援員を設置し、授業や家庭学習において、より効果的なICT機器の活用と安定したネットワーク環境の整備を進めています。



▲タブレット端末を活用した授業

◆町費支援員等による教育支援事業

・適応支援専門員等設置事業 予算額:3,350万円

◆学校支援員・特別支援アシスタントの設置・・・指導方法の多様化により、教員一人当たりの負担が大きくなっている中で、柔軟な業務ができる支援員を派遣し、児童生徒の学習指導や生活支援を行います。

◆適応支援専門員の設置・・・不登校、問題行動等の課題を抱える児童生徒が学校で適応できるように支援をする専門員を配置します。



◆公共交通の維持と充実

◆公共交通機関対策事業

予算額:1億2,882万円

◆沿線住民にとって重要な生活路線である養老鉄道養老線と、名阪近鉄バス大垣大野線に対して、近隣市町と協調し、継続運営のための財政支援を行っています。



▲神戸町を縦断する養老鉄道



◆暮らしを守る地域防災の強靱化

◆自主防災組織防災資機材整備等事業

予算額:250万円

◆各地区に配備している防災資機材の適正な維持管理、補充等のため、購入・修繕費用等の補助を実施しています。

補助率:補助対象経費の1/2



▲防災資機材の整備

消防団員の報酬等を見直しました。

◆消防団員処遇改善事業 予算額: 1,580万円

消防団員の確保が年々難しくなる中、消防団をより参加しやすいものとするとともに、社会全体の理解を得ていく必要があります。その処遇改善の一つとして消防庁から示された「報酬等の基準」に従い、年額報酬及び出動報酬の見直しを行いました。

(1) 消防団員の種類と定員の見直し

「基本団員」100人と、特定の活動に従事する「機能別団員」20人に区分。

(2) 年額報酬の見直し

団員については、25,000円から36,500円に増額。

(3) 出動報酬の見直し

団員が災害や警戒、訓練等の職務に従事する場合には、1日8,000円の範囲内で規則に定める額として報酬を支払う。

(4) 訓練の見直し

訓練の効率化、訓練内容の見直しを図り、年間約100回実施していた訓練を約60回に削減。





◆計画的な社会基盤整備

◆公共下水道 管渠整備事業 予算額:7億7,802万円



◆令和4年度の事業区域としては、新西保・西保・更屋敷・柳瀬・斉田区域を中心に工事を予定しています。





◆高齢化社会に適応した福祉の充実

◆ばらタクシーサービス事業 予算額:2,500万円

◆外出が困難な在宅高齢者等に対し、通院・買い物などの外出支援のため、タクシーを利用した送迎サービスを実施しています。

◆認知症対策事業 予算額:610万円

◆認知症になっても安心して暮らし続けることのできる地域づくりを推進するため、認知症に対する正しい知識の普及と予防に取り組めます。

- ・認知症予防・早期対応事業
- ・認知症サポーター養成・ボランティア組織の育成

◆ひきこもり等居場所づくり支援事業

予算額:120万円

◆NPO法人グラシアスに委託し、現在運営している就労継続支援B型事業所の一部スペースを利用し、社会復帰したい方等を対象として社会参加のための居場所・作業を通じての就労体験などを支援します。





◆観光資源を活用した魅力の発信

◆観光交流館ひよしの里運営事業 予算額:341万円

◆養老鉄道広神戸駅前にある「ごうど観光交流館ひよしの里」において、サロン及び歴史・文化財を紹介するギャラリー、企画展が実施できるスペースの貸出など、「賑わいのあるまちづくり協議会」と協働で運営しています。

◆観光ボランティアガイドによるガイド活動の支援 予算額:10万円

◆歴史と伝統を色濃く残す神戸町をご案内しています。定期的に、史跡を巡るウォーキングイベントを開催するなど、様々な催しを企画し、交流人口の増加を図っています。

◆ばらウィーク事業 予算額:203万円

◆5月から6月にかけて、ばら公園いこいの広場の来場者にゆっくりとくつろいでいただけるように、喫茶サービスを提供できる仮設店舗を設置したほか、5月15日(日)には、イベントを開催し町内外にPRを行いました。ばら苗の販売、フотスポットの設置、キッチンカー出店などの催しを行い、町内外から多くの来場者で賑わいました。



▲春のばらウィークイベント

▲観光ボランティアガイドによるガイド活動



◆地域経済の活性化

◆雇用拡大事業奨励金 予算額:100万円

◆町民を正規従業員として雇用、町外在住者の神戸町への定住を促進するため、新規雇用を行った事業者に対して奨励金を交付します。

・新規学卒者:20万円、転職者:10万円

◆創業支援事業補助金 予算額:100万円

◆新たな需要と雇用の創出を促進し、町の産業振興及び活性化を図ることを目的に、町内で新たに創業される方に対して補助金を交付します。上限50万円。(補助対象経費の1/2補助)

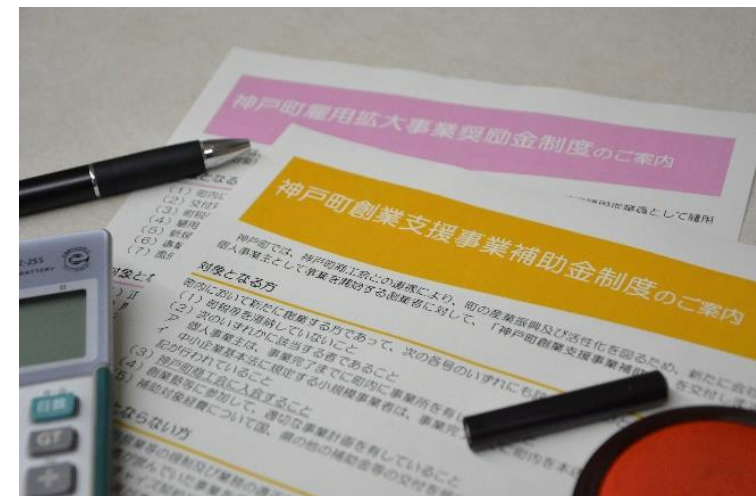
◆特産品開発支援事業費補助金 予算額:100万円

◆神戸町の特色を活かした特産品の開発を進める事業者等に対して、その開発や商品化に要する費用の一部を補助することにより、町ならではの特産品の開発を促進し、地域産業の活性化を図ります。

上限50万円。(補助対象経費の1/2補助)

⇒令和3年度特産品開発支援事業補助金を活用して販売された商品。

(左)低糖キッチン源喜バラ味のパウンドケーキ・(右)樋口製本所の和装帳





神チャレンジプロジェクト

町では、住民団体と協働して実施するまちづくり事業を「神チャレンジプロジェクト」と称し、取り組んでいます。”神戸町に住んで良かった”と思えるまちを目指して、神戸町が抱える課題の解決に向け「郷土愛を育む」「花のある暮らしづくり」の2つのテーマを設定し、事業を展開しています。

◆テーマ「郷土愛を育む」・・・「神戸町観光ボランティアガイドの会」



▲ガイドの会では「神戸かるた」を作成。町にまつわるイラストが描かれた絵札と詳細な解説を日本語と英語で記載した読み札のセットです。神戸の歴史と文化が楽しく学べます。かるたを利用し、現地においてガイドも行っています。



神チャレンジプロジェクト



神チャレンジ2022
OUR TOWN FULL OF DREAMS AND LOVE

◆テーマ「花のある暮らしづくり」 …「ごうど町賑わいのあるまちづくり協議会」



「ばらづくり教室」



「ローズストリート事業」



「広神戸駅ホームガーデン事業」

花を飾ったり、育てることを通じて町の活性化を図ろうと、
広神戸駅前の「観光交流館ひよしの里」を運営している「ご
うど町賑わいのあるまちづくり協議会」の皆さんが、上記の
事業に取り組んでいます。

また、このほかに、「町民の郷土愛を育もう」
と「神戸力検定委員会」を立ち上げ、毎月の広
報に掲載する問題を作成しています。

神戸力
検 定





◆移住・定住の促進

◆定住促進奨励金事業 予算額:1,500万円

◆町内に新たに新築住宅、または中古住宅を取得された方に対して奨励金を給付し、定住の促進を図ります。

新築:3,000円/1㎡(上限45万円)

中古:1,000円/1㎡(上限15万円)

◆空家バンク運営事業 予算額:43万円

◆空家バンクにおいて、空家の所有者(売却あるいは賃貸の希望)から家屋情報の提供を求め、一元的に情報を管理し、空家の活用に向けて不動産業者への情報提供、取得希望者へのあっせんを図ります。

◆高校生世代通学定期券購入助成事業

予算額:550万円

◆高校生世代が通学に使用する公共交通機関の通学定期券の購入費用を助成することにより、移住定住、公共交通機関の利用促進、子育て世代の経済的負担の軽減を図ります。



▲移住定住促進ポスター



▲空家バンクトップページ

▲令和4年度からJRなどすべての公共交通機関に助成範囲を拡大。



◆行政のデジタル化の推進

◆コンビニ交付サービス事業 予算額:2,400万円

◆マイナンバーカードを利用し、コンビニエンスストアで、住民票等各種証明書発行を可能とすることにより、役場以外で証明書が交付できるサービスを提供します。

◆公共施設予約システム事業 予算額:132万円

◆時間や場所の制約を受けずにインターネットを活用して、公共施設の空き状況の確認や予約申込みができるシステムを導入して利用者の利便性の向上を図ります。

◆ぐうど情報アプリ導入事業 予算額:185万円

◆町民に伝えたい情報をスムーズに提供する媒体として神戸町オリジナルのスマートフォン用アプリを作成し、効率的に情報を得られるように配信サービスを行っています。



▲コンビニのコピー機で利用できます。



▲町HPの公共施設予約ページ。